

生涯学習分科会企画部会 平成28年11月7日

長寿化と生涯学習

「多世代交流」と「学習と活動の循環」
～三鷹市の事例から～

三鷹市長 清原 慶子

<長寿化と生涯学習を考える視点>

A. 高齢者の生涯学習を考える

- ◆高齢者による学習の実態

- ◆高齢者を対象とした学習機会のあり方

B. 長寿化に関する諸課題についての学習の必要性から考える

C. 長寿化がもたらす地域課題を解決するための生涯学習と活動の実態から考える

D. 上記の地域課題を解決するための高齢者による生涯学習と活動の実態から考える

0. 三鷹市の位置と概況

- 市制施行日：昭和25（1950）年11月3日
- 面積：16.42km²
- 人口：185,323人
- 世帯：92,127世帯（H28年10月1日現在）
- 勤労者が多く居住する住宅都市
- 地方交付税の不交付団体
- 予算規模：約1.100億円（平成28年度一般会計及び特別会計）
- 平均寿命が長く高齢者の独居・二人暮らしが多い
- 近年ファミリー層が増加傾向



都立井の頭恩賜公園



1. 高齢者を含む

学習者主体による生涯学習

① 社会教育の事例にみる多世代交流

◆市民大学総合コース

→市民と職員の協働で構成された「企画委員会」が講座のテーマや講師を選定

→受講者平均年齢：61.8歳＜平成28年度開講時＞

// 最高齢者：88歳

◆むらさき学苑（60歳以上の高齢者対象）

→受講者平均年齢：76.4歳＜平成28年度開講時＞

// 最高齢者：94歳

② 三鷹ネットワーク大学の事例



国際基督教大学、杏林大学、国立天文台をはじめとする三鷹市内の法人に加えて、立教大学、法政大学、明治大学等の市外の大学を含む19の教育・研究機関と三鷹市が2005年10月にNPO法人を設立して運営している

「地域の新しい大学」をめざす「民学産公」協働の取り組み

正会員	賛助会員	合計
20団体	63団体	83団体

◆正会員 教育・研究機関と三鷹市

アジア・アフリカ文化財団／亜細亜大学／杏林大学／国際基督教大学／国立天文台／首都大学東京／成蹊大学／電気通信大学／東京学芸大学／東京工科大学／東京女子大学／東京農工大学／日商簿記三鷹福祉専門学校／日本獣医生命科学大学／日本女子体育大学／法政大学／明治大学／立教大学／ルーテル学院大学／三鷹市（合計**20**団体）

◆賛助会員のうちわけ	
企業	27
大学・教育機関	6
財団法人	3
社団法人	6
NPO法人	11
その他の公共的団体	3
任意団体	5
個人	2
合計	63

(H28年3月31日現在)



三鷹ネットワーク大学にみる多世代交流

教育・研究機関の地域への開放と、地域社会における知的ニーズを融合し、民学産公の協働による新しい形の「地域の大学」をめざしている

「知の共有の場」としての三鷹ネットワーク大学

事業項目	平成27年度での事業例
(1) 教育・学習機能	<ul style="list-style-type: none"> ●「太宰を読む百夜・百冊その2」 ●「星のソムリエみたか・星空案内人」養成講座 ●「おとな絵本ラウンジ」
(2) 研究・開発機能	<ul style="list-style-type: none"> ●「民学産公」協働研究事業 ●SOHOベンチャーカレッジの開催 ●まちづくり総合研究所事業
(3) 窓口・ネットワーク機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師力養成講座・学校支援者養成講座 ● サロン事業「アストロノミー・パブ」 ● スタンプラリー「みたか太陽系ウォーク」の開催 ● 天文・科学情報スペースの運営支援

●受講者登録数
(平成28年3月31日現在)
受講者登録人数 9,486人
男性44% 女性56%
三鷹市民50.5%市外49.5%

受講登録者の年代		
～19歳	245人	(2.6%)
20代	874人	(9.2%)
30代	1,559人	(16.3%)
40代	1,919人	(20.2%)
50代	1,740人	(18.3%)
60代	1,516人	(16.0%)
70代	1,037人	(10.9%)
80代～	405人	(4.3%)
無回答	191人	(2.0%)

●平成27年度講座実績
件数:233件
コマ数:614コマ(1コマ1.5h)
申込総数:14,403人

2. 長寿化による地域課題と生涯学習

(1) 「三鷹市第4次基本計画（第1次改定）」

○三鷹市の2つの最重点プロジェクト

成熟した都市の質的向上をめざす

「都市再生」プロジェクト

ともに支え合う地域社会を生み出す

「コミュニティ創生」プロジェクト

○三鷹市の7つの重点プロジェクトのなかで

いつまでも元気に暮らせる

「健康長寿社会」プロジェクト

* 平成28年度施政方針

協働による「都市再生」と「コミュニティ創生」の

更なる充実と

多世代交流と多職種連携による

「元気創造都市・三鷹」のまちづくりの推進を

(2) 地域ケアネットワークづくりと生涯学習

- ◆ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、民生・児童委員、町会・自治会、社会福祉協議会会員等**ボランティアの連携**
- ◆ 市内**7つのコミュニティ住区**のすべてで発足
- ◆ 市民と市民の相互支援（共助）の実現に向けて求められる能力と生涯学習
- ◆ 介護予防、体力づくり等の講習会の実施と「卒業生」の自主グループ化

(2) 地域ケアネットワークづくりと生涯学習

① 傾聴ボランティアの学習

- 平成18年度～現在まで205人を養成、
- H27年度派遣実績延べ1,396人
- 傾聴ボランティアとは、高齢者や障がいのある方のご自宅・施設などを訪ね、相手の心に寄り添って話を聴くボランティア活動
- 市では3年に1回程度、傾聴に必要な知識や技術を学ぶ連続講座を開講
- 講座の概要：
 - ◆全6回、合計20時間
 - ◆在勤を含む市民で全回参加できる方30人程度
 - ◆主な内容
傾聴の基礎知識／高齢者の心理／対話技術／
ロールプレイング など

② 地域福祉ファシリテーターの学習

- 三鷹市・武蔵野市・小金井市の3市と3市社会福祉協議会、ルーテル学院大学の協働
- H21年度～現在まで三鷹市は100人を養成
各ケアネットや地域の課題の解決に取り組む
- 地域福祉ファシリテーターとは、身近な福祉活動を企画・実施できる能力を身に付けた市民
- ルーテル学院大学から講師を迎え、地域の課題やニーズを見つけて新たな支え合い活動を立ち上げるために必要な知識と技術を実践的に習得
- 修了生は受講後も活動を継続し、現在11の自主グループが活動中
- 講座の概要：
 - ◆主催：三鷹市、武蔵野市、小金井市、各市の社会福祉協議会
 - ◆時期と回数 毎年7月～1月
全7回の講座と8回のグループ学習
 - ◆対象と定員 在勤を含む市民15人程度
 - ◆場所 ルーテル学院大学
 - ◆主な内容 講義／演習／グループ学習／地域活動実践／プレゼンテーション など

③ 地域福祉人財養成基礎講座による学習

- 「共助の地域づくり」に貢献する人財を養成するための講座として、毎年テーマを変えて開講
- 平成22年度からは、**地域福祉ファシリテーター養成講座（前記）のプレ講座的な内容**
- 最近のテーマ：
 - ◆誰でもできる地域デビュー講座—まずは簡単なことからはじめてみよう（25年度）
 - ◆社会参加と仲間づくりで健康なシニアライフを！（26年度）
 - ◆傾聴の超入門—地域でのボランティア活動や家族とのコミュニケーションに活かします（27年度）

④ 認知症サポーターの養成

- 「認知症にやさしいまち三鷹」の推進の一環
- 市民や市職員対象の市主催講座の他、様々な団体へ講師を派遣する出前講座を開催
 - H20年2月～現在までの累計で7,047人が修了
- 認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族をあたたく見守る応援者
- 講座の概要：
 - ◆所要時間 1～2時間程度
 - ◆対象 市民グループ
 - ◆主な内容 認知症を理解する／認知症の方への接し方／サポーターのできること など
- このほかにサポーター養成講座の講師となる「認知症キャラバンメイト」を養成

⑤みたかふれあい支援員

★三鷹市独自の基準による訪問型サービスの内容

	国の基準による訪問型サービス (これまでの介護予防訪問介護と同じサービス)	三鷹市独自の基準による訪問型サービス
提供する人	★訪問介護事業所のヘルパー	★訪問介護事業所のヘルパー ★みたかふれあい支援員
内 容	右記のほか、必要に応じて身体介護を行う場合があります。	掃除、洗濯、食事の準備や調理等の生活支援 ◎自分で行うことが難しい生活上の支援を行います。 ◎家族のための家事や日常的な家事の範囲を超えることについては、サービスの対象となりません。
1回あたりの提供時間	内容により異なります。	45分以上60分未満
1月あたりの自己負担 (めやす)	月毎に定額の利用料 ★週1回程度の利用 1,250円/月 ★週2回程度の利用 2,499円/月 ★週2回程度を超える利用 3,964円/月	利用回数に応じた利用料 ★訪問介護事業所のヘルパー 1,092円/月4回 ★みたかふれあい支援員 878円/月4回
※1割負担の場合	◎上記のほか、初回加算、生活機能向上連携加算、処遇改善加算があります。	◎家事援助のみで、身体介護は行いません。 ◎上記のほか、初回加算があります。

みたかふれあい支援員の養成

みたかふれあい支援員になりませんか？ ～訪問ヘルパー養成研修のご案内～

■家事援助に興味はあるけれど、訪問ヘルパーの資格を持っていないから働けない、というかた
■高齢者の人たちの役に立ちたいと思っているかた
そのようなかたは、是非お申込みください！
ヘルパーの資格を持っていなくても、この研修を受講して市の認定を受けた方は、市内の指定訪問事業所との契約後、「みたかふれあい支援員」として訪問型サービスに従事できるようになります（報酬金額は、各事業所が定めています）。



日時：平成28年10月17、24、31日

午前9時10分～午後5時（初日は4時30分）

**会場：日商簿記三鷹福祉専門学校
（三鷹市下連雀4-19-11）**

**定員：30名（応募多数の場合は抽選）
対象：18歳以上のかた（高校生を除く）**

3日間すべて受講できるかた

**申込：9/30（金）までに電話、E-mail、FAXにて下記まで
主催：三鷹市（日商簿記三鷹福祉専門学校に委託）**

※3日間コース
（調理実習あり）
詳細は、下記お問い合わせ
先までご連絡ください。

参加無料

会場地図、
申込書は裏面を
ご覧ください

お問い合わせ・お申込み

三鷹市高齢者支援課
電話：0422-45-1151 内線2622
FAX：0422-48-2813
E-mail：koreisha@city.mitaka.tokyo.jp

◆要請実績・予定◆

平成28年 6月	第1回研修（26名）
平成28年10月	第2回研修実施（30名）
平成29年 6月	第3回研修実施（30名）
平成29年10月	第4回研修実施（30名）

平成30年	フォローアップ研修（予定）
-------	---------------



高齢者が高齢者を支援する学習と活動の循環

研修参加者の多くが、65歳以上の「元気高齢者」

- ◆「みたかふれあい支援員事業」の研修参加者のうち、第1回目は7割以上、第2回目は5割以上の方が高齢者（65歳以上）
- ◆「みたかふれあい支援員」は、身体介護は行わず家事援助に特化することで、高齢者にも取り組みやすい制度
元気高齢者が地域の人財として、地域で高齢者の生活を支える仕組みの一つ

支援を必要とする高齢者を、地域の元気高齢者が支える仕組みづくりを

- ◆元気高齢者が、地域の中でますます活躍していける仕組みや場所を、どのように設けていくかということは、市としても非常に重要な取り組み課題
- ◆高齢者の活躍の場としては「シルバー人材センター」が、生きがいづくりの場としては「老人クラブ」など
- ◆高齢者の増加に伴い、高齢者の社会活動や生きがいづくりは一層多様化
- ◆元気高齢者のやる気をそのまま活動につなげられるような仕組みづくりが大切

⑥ 元気高齢者のその他の活動の場

ほのぼのネット

住みなれた家、住みなれた地域で暮らしている高齢者、障がい児・者、児童や日常生活でお困りの方々が、安心してより快適に暮らせるように、同じ地域に住む住民が「ほのぼのネット員」となって、住みよいまちづくりを進めるため行うボランティア活動

シニアSOHO普及サロン・三鷹

元気なシニアが自らの居場所と出番を創る場（プラットフォーム）の提供と、コミュニティビジネス支援。元気なシニアが居場所と出番を確保し生き生きと活躍

◆三鷹いきいきプラス

おおむね55歳以上の方に、楽しく社会活動をしていただくための事業。会員とサポートを必要とする個人・団体をICTを使ってマッチングしています。（高齢者社会活動マッチング推進事業）

◆わくわくサポート三鷹

おおむね55歳以上の方のお仕事探しや、働く方を探している企業の支援

キャリアカウンセラーなどの資格を持つ専門のスタッフによる就業相談や、就職活動支援セミナーを実施するほか、高齢者の方々の長年にわたって蓄積した経験と知識を生かし、創業、SOHO、有償ボランティア、NPO法人などの地域における多様な働き方を紹介

(3) コミュニティスクールにみる 多世代交流と生涯学習

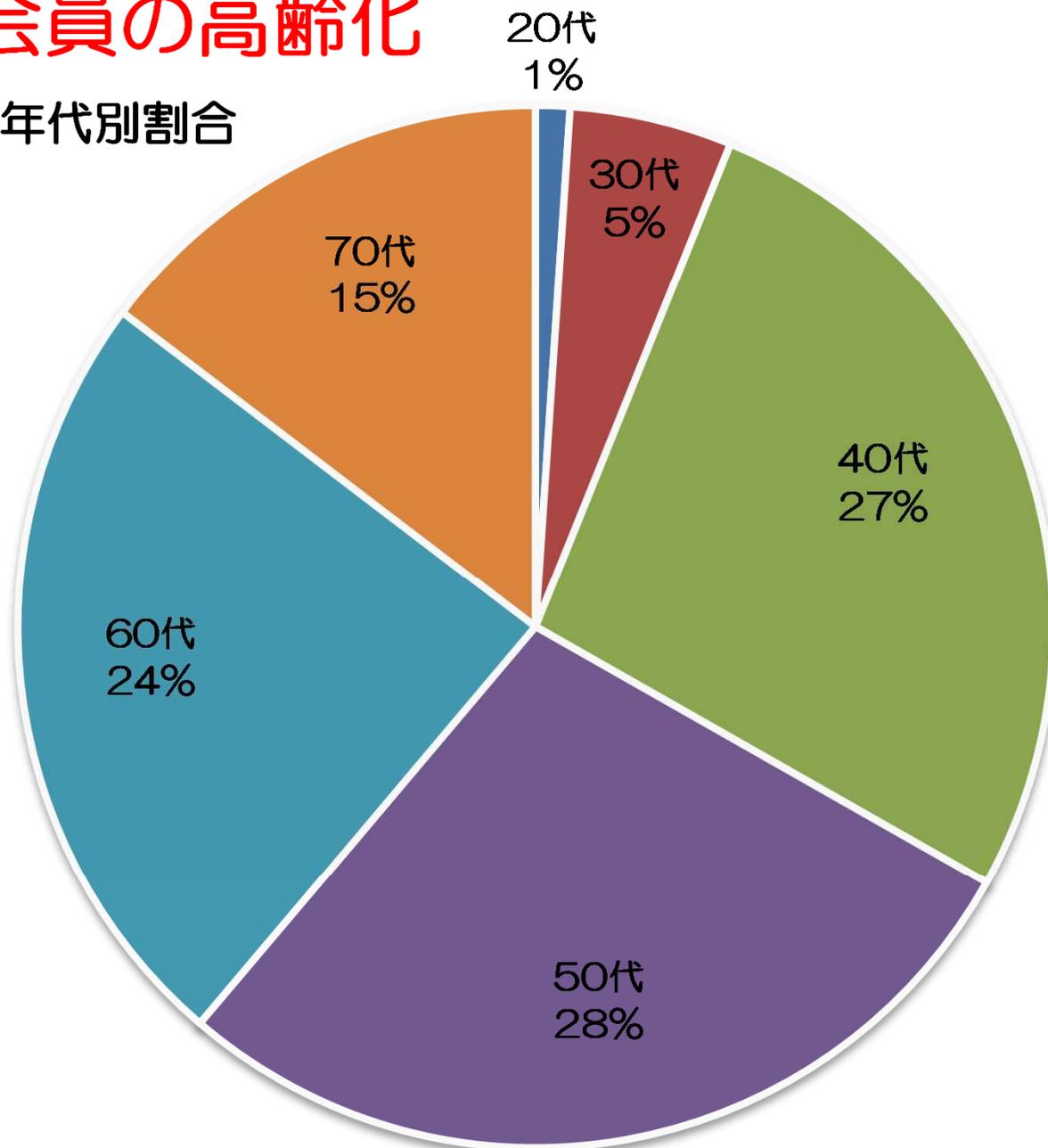
- (1) 「コミュニティ・スクールを基盤とする小・中一貫教育」を推進するコミュニティ・スクール委員会委員の活動
- (2) 授業支援、クラブ支援をするNPO法人や市民ボランティア
- (3) 地域子どもクラブ（放課後の児童の活動支援）ボランティア
- (4) おやじの会、父親の会のキャンプ指導等の活動

(4) 子ども子育て支援活動にみる 多世代交流と生涯学習

- ① 青少年対策地区委員会（全小学校区）
- ② 交通安全対策地区委員会（全小学校区）
- ③ 青少年委員、補導連絡員
- ④ 子ども会
- ⑤ 児童館ボランティア
- ⑥ ファミリーサポート（子育て援助活動支援事業）

ファミリー・サポート・センター事業 援助会員の高齢化

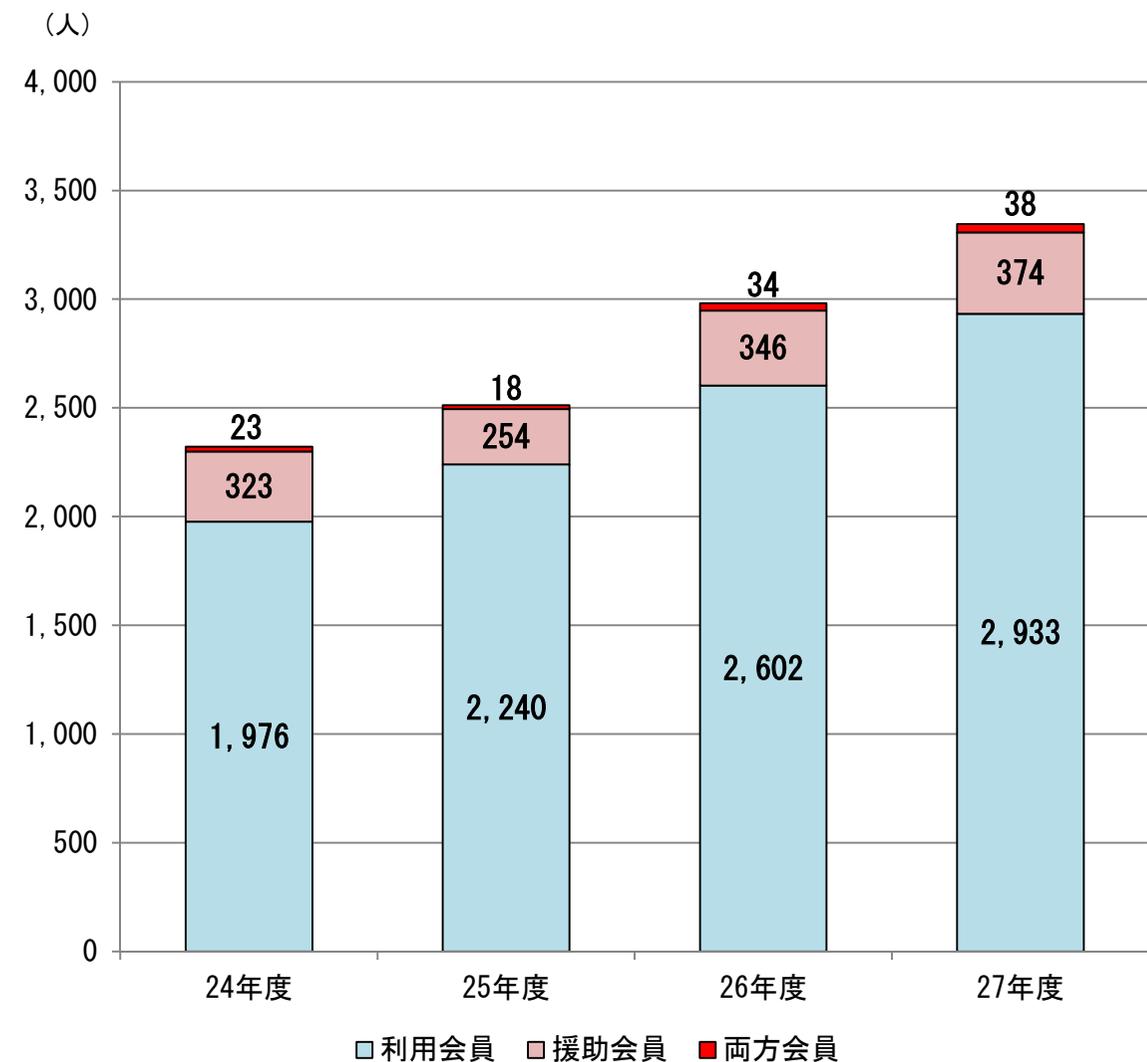
■援助会員の年代別割合



◆在宅子育て支援 ～ファミリー・サポート・センター事業～

共助の仕組み

＜会員数の推移＞



今後の課題

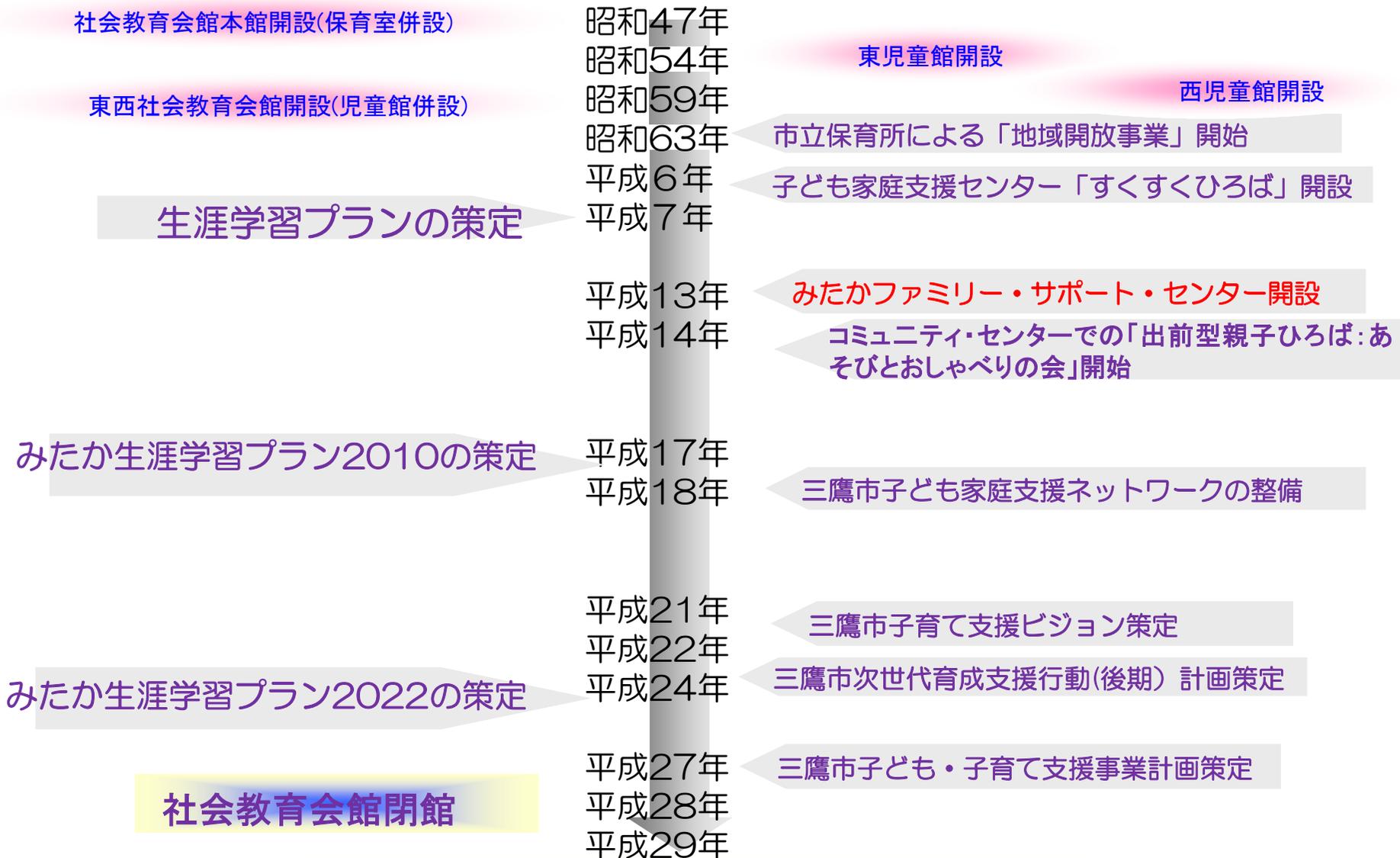
- 会員の拡充、スキルの向上
⇒ 子育てサポーターの養成
- 男性会員（育メン・育爺）の拡充
- 対応するサービスメニューの拡充
 - 出前型親子ひろば
 - 訪問型障がい児保育
 - 訪問型病児保育
- 居宅訪問型保育や育児支援ヘルパーとの棲分・連携

※ほのぼのネット、NPO、ハピネスセンター、医師会等との連携

三鷹市の生涯学習と子育て支援施策の展開

生涯学習施策

子育て支援施策



生涯学習センター・多世代交流センター開設

長寿化と生涯学習を考える視点

- A. 高齢者の生涯学習を考える
 - ◆高齢者による学習内容・手法の**多様化**
 - ◆高齢者を対象とした学習機会の**多世代化**
- B. 長寿化に関する**諸課題の多様化**による学習分野の拡大
- C. 長寿化がもたらす**地域課題を解決するための生涯学習と活動の分野としての「少子長寿化」**
- D. 地域課題を解決するための活動に見られる**多世代交流と高齢者による学習と活動の循環**